

吾妻地域計画

1 地域の概要

- 吾妻地域は群馬県北西部の4町2村からなり、全域が中山間地域で標高300～1,400mに耕地が分布し、標高差を活かした特徴ある農業が展開され、吾妻渓谷に築造された八ツ場ダムを境に、東部地域（中之条町、高山村、東吾妻町）と西部地域（長野原町、嬭恋村、草津町）に大別されます。
- 東部地域では、稲作＋野菜などの複合経営を主体として、こんにゃくいも、夏秋なす、キク類、りんご等の産地化が図られているほか、養豚・採鶏卵の大規模経営が行われています。
- 西部地域の高原地帯では、嬭恋村、長野原町を中心にキャベツ、はくさい等の大規模栽培や酪農経営が営まれています。



東部地域の水田地帯（中之条町）



西部地域の高原野菜（嬭恋村）

2 現状及び課題

- 東部地域では、担い手の確保や育成を図る観点から、一層の生産基盤整備を進める必要があります。
- 西部地域では、高原野菜のさらなる産地強化に向けた営農労力の軽減や集中豪雨等による表土流亡の軽減対策が急務となっています。
- 美野原用水土地改良区等が管理する農業水利施設や東吾妻町等の農道では、標準耐用年数を大きく超過した施設が多く劣化も著しいことから、老朽化した施設の計画的な保全対策が必要です。また、近年、多発する自然災害に対応した地震対策により、地域の安全安心を確保する必要があります。
- 担い手への農地集積が進む中、山あいの条件不利地では荒廃する農地も増加しています。一方、中山間地の暮らしに魅力を感じ、就農希望者も増えつつあるため、新規就農者が持続可能な魅力ある農業展開が図れる取組が必要です。



豪雨等による表土流亡状況（嬭恋村）



老朽化が進む農業水利施設（中之条町・美野原用水）

3 地域における施策の展開

(1) 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

- 干俣地区（嬭恋村）において、防除用水管路や受水槽を完成させ、水管理の省力化や営農労力の軽減を図り、担い手へ133haの農地集積を推進します。
- 仙之入、田代湯尻地区（嬭恋村）において、農道や排水路、沈砂池を完成させ、営農効率並びに地域排水機能の向上を図り、担い手へ56haの農地集積を推進します。
- 原地区（高山村）、上ノ原地区（東吾妻町）において、農地中間管理機構と連携した生産基盤整備等により、営農条件の改善及び農地集積・集約化を推進します。
- 中之条地区（中之条町）、榛名西麓1期地区（東吾妻町）、大笹地区（嬭恋村）において、農道保全対策計画に基づく路面補修及び農道橋の地震対策を完成させ、農道機能の維持・保全を行います。



受水槽による防除用水の安定確保
（嬭恋村：干俣地区）



保全対策が行われた農道
（東吾妻町：榛名西麓1期地区）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積	139ha	189ha

(2) 持続的な農業用水の安定供給

- 美野原2期地区（中之条町）において、機能保全計画に基づく、農業水利施設の長寿命化対策等を完成させ、農業用水の安定供給を行います。
- 美野原土地改良区や嬭恋土地改良区等の各土地改良区における維持管理計画書の見直しを支援します。
また、運営体制の強化に向けた施設の資産評価及び複式簿記の導入・活用を支援します。



長寿命化が図られた頭首工
（中之条町：美野原地区）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
基幹農業水利施設の長寿命化対策工事を完成させる地区数	1地区	2地区

(3) 安全安心な農村づくり

- 防災重点ため池（10箇所）のハザードマップの作成及び地域住民への周知を支援し、地域の安全安心を確保します。また、豪雨・地震における詳細調査を支援し、対策が必要とされた防災重点ため池の豪雨・地震対策を推進します。
- わらび峠地区（中之条町）において、地すべりの前兆現象を早期に把握するため、地域住民と連携した監視体制を毎年度構築します。



防災重点ため池の状況（高山村：梅沢貯水池）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数	0箇所	10箇所

(4) 魅力ある農村の構築

- 多面的機能支払交付金を活用した農地や水路等の維持・保全に取り組む地域の協働活動を支援し、2,693haにおいて農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図ります。
- 新田地区（長野原町）において最適整備構想に基づく、農業集落排水施設の機能強化対策を支援し、農村環境の保全を図ります。



学校との連携による農業用水学習会
（長野原町：長野原町広域協定）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積	2,535ha	2,693ha

(5) 地域資源を活かした中山間地域の振興

- 六合地区（中之条町）において、新規就農者が担い手として定着できるよう、かんがい施設等の生産基盤整備を支援し、魅力ある地域づくりに取り組みます。



ブランド化された「六合の花」
（クリスマスローズ）



かんがい施設が整備されたハウス
（中之条町：六合地区）

4 地域の重点取組

西部地域の高原地帯は、急傾斜地であることから、台風や集中豪雨時には隣接する農道や河川にも耕作土が流出し、その対応に苦慮している状況です。

これまでに表土流亡の軽減対策として、承水路や沈砂池整備によるハード対策とグリーンベルトや緑肥によるソフト対策を一体的に進めてきましたが、近年では、堆積土による沈砂池機能の低下や生産農家のソフト対策への意識の希薄化が進み、表土流亡もより深刻化しています。

今後も、より一体的なハード対策とソフト対策を進め、表土流亡を軽減し、全国に誇れる高原野菜の産地力強化に向けて以下の取組を進めます。

- 沈砂池や流末排水路を整備し、表土流亡の未然防止並びに円滑な下流域への排水対策を行います。
- 地元農家や関係機関と連携し、沈砂池内堆積土の撤去や農地還元手法について検討します。
- 生産基盤整備に併せて、地元農家へソフト対策の重要性、必要性の周知を図ります。



沈砂池の堆積状況（孺恋村）



グリーンベルトの設置状況（孺恋村）